学校番号	２１４

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）芸術の探究（美術）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術に関する専門的な学習を通して、感性や創造的な表現の能力の向上を目指します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
対象や事象を捉える造形的な視点の理解を深め、意図に応じて表現方法を創意工夫ができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどを考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期・二学期・三学期	年間を通してデッサンを行う	・絵画の基礎となるデッサンを通して、観察力・描写力・集中力を養う ・美術・建築系の進路対策も必要に応じて行う ・デッサンの基本について ・幾何形体 （直方体・円柱・球体等） ・日用品 ・人体 ・複合モチーフ ・着彩描写　　等 （随時合評）	a: 画材の特性を理解し、意図に応じて色調などを工夫して表現している b: 主題や条件から色調や構図などの働きを考えて表現の構想を練っている c: 作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、作品ついて理解を深めている	作品	ワークシート	ワークシート 制作態度
三学期	美術展	・事前準備など、生徒主体で展覧会の運営を行う。 ・鑑賞者からのコメントを通して自己の制作に向き合い、美術と社会とのつながりについて考える。	c:作者の意図や表現の工夫、様々な美術の特質、展示効果などを感じ取り、生活や社会と美術とのつながりや美術文化ついて理解を深めている			取り組み態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度